

書牘卷之二（八）

賣證  
壳渡証文

覺

一、何品 何箇

此代金何円也、<sup>圓</sup>

右之品、此度貴殿へ売渡、<sup>賣</sup>

前書之代金受取申処、<sup>處</sup>

実正也、若シ此品二付、何様

之儀出来候とも、拙者罷出、

急度申披、聊御煩勞相<sup>勞</sup>

懸申間敷候、後日のため証<sup>證</sup>

書差入候也、

明治何年何月何日

何某

何某殿

※漢字は全て新字体に直したが、原文が旧字体に近い書体で書かれている場合は、右脇に旧字体を添えた。

※変体仮名は現行の平仮名に直した。なお、字母に当たる漢字を右脇に添えた。